

人 輝く・安芸高田



あきたかた

議会だより

今回の題字は、京極 歩実(八千代中学校3年)さんです。



国の景気対策

12億6,651万円 …… 2

葬斎場の経緯は? …… 16

12名が市長に問う …… 6～11

地域のかがやき …… 18

第22号

2009(平成21)年8月1日発行

12億6,651万8千円

国の景気対策臨時交付金を受けて
早期執行を！可
決

6月定例会を6月9日から6月23日までを会期として開きました。

一般会計補正予算など3議案について質疑・答弁があり、うち2議案について賛成討論がありました。

提案された16議案について、慎重に審査し、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問では、12名が市政を問いました。

(6ページから11ページに掲載)

6月補正の概要

国の景気対策として創設した「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」などを受けての予算編成で基本方針は今日まで積み残されてきた課題の整理や、今後どうしてもやらなければならない事業の前倒しに主眼を置き、市の将来の財政状況を見据えたうえでの予算化。



地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の具体的内容は
広報あきたかた 7月号 をご覧ください。

主な事業

○ 地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業



■ 学校校舎・体育館・
トイレ等改修

1億1,490万円



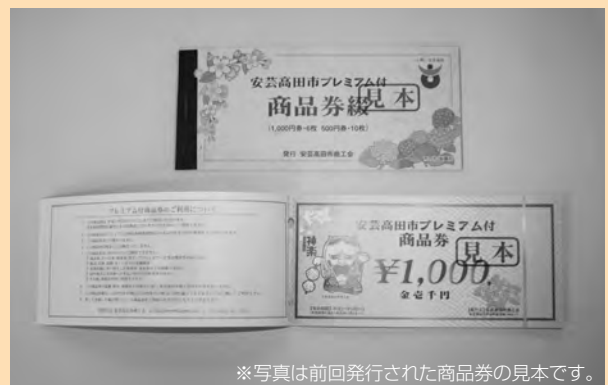
■ 保育施設改修
(8保育所)

2,019万2千円



■ 基幹集会所等備品整備
(AED・地デジテレビ)

2,207万4千円



※写真は前回発行された商品券の見本です。

■ プレミアム商品券発行補助

2,500万円

○ 子育て応援特別手当支給事業



■ 3歳児から5歳児までの
第1子以降3万6千円支給
(ただし、H15年4月2日からH18年4月1日までに生まれた児童に限る)

2,758万2千円

○ 緊急雇用対策基金事業



■ 不法投棄防止パトロール

781万2千円

大型補正予算で課題解決を図る

**地域公共交通活性化・
総合再生事業と
県元気づくり交付金で
バス等を購入**

和田・水戸・青原

デマンドバスの購入について、地元業者の優先と委託形態は、県の元気づくり交付金での対応は。

清水部長・竹本課長

執行方法は具体的に検討はしていませんが、バス購入は、朝・夕定時路線に県の元気づくり交付金で大型3台と29人乗り2台、デマンド4路線に地域公共交通活性化・総合再生事業で小型4台、10人乗り15人乗り乗用車10台を購入予定です。運営形態は委託業者にすべての経費も含めて委託する予定で市内7業者と協議中です。

**事業の
早期執行により、
経済効果・事業効果を
期待**

今村・金行

今回の補正は景気対策も含め、緊急的な経済効果・事業効果が期待される。これらの効果をどう考えているか。また実施にあたっては早急な事業執行を。

市長・副市長・金岡部長

補正の内容はほとんどが今までの懸案課題であり、実施にあたっては事業効果が十分に期待できるものと思っています。商工業・農業振興、地域振興等多くの効果を考え予算計上しています。事業の執行については、国の施策の主旨に沿って早急に実施したいと思います。

**課題の
全てに
対応？**

入本

この補正に対する積算は各方面を精査して計上された報告されたが、予算漏れはないか。

清水部長

予算計上は、市内全体の状況を調査し緊急順位の早いものから優先しており、全てが網羅されたわけではありません。残った事業についても財政状況をみながら取り組んでいくこととなります。

文教厚生

常任委員会

定例会において付託された議案1件について、6月17日に委員会を開き慎重に審査し、原案どおり可決しました。

(審査)

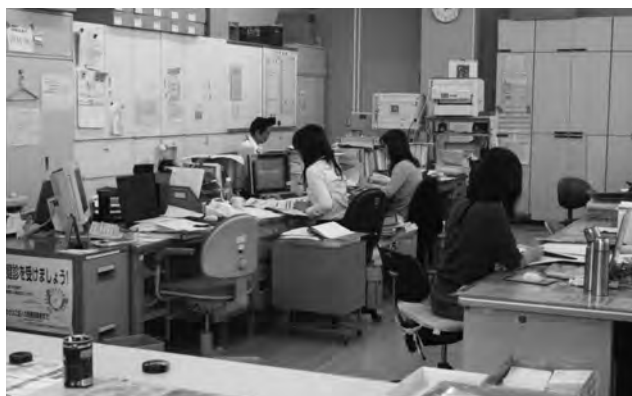
○安芸高田市国民健康保険税条例の一部改正

委員長 青原 敏治
副委員長 穴戸 邦夫
委員 石飛 慶久
委員 児玉 史則
委員 水戸 眞悟
委員 山本 優
委員 塚本 近

この時期になぜ? 国保税引き上げ

引き上げの理由

- ・20年度一般被保険者一人当たり医療費は対前年比11倍に増大。今後ともこの傾向。
- ・これまでは、不足分を基金で調整してきたが、財政硬直化を招く。(底をつき限界)
- ・制度改正による交付金の影響が不明瞭。(20年度前期高齢者交付金1億円減)
- ・このままだと翌年度(22年度)大幅な負担増が想定される。



保健医療課(医療保険係)

概要

20年度の決算見込みを踏まえ21年度の試算を行ったところ、約1億2千万円の不足が生じるため、その半分程度を税によって補う。
(後の半分は繰越金などで対応)

一人当たり医療費の推移 (一般被保険者)

| 一般被保険者 | 医療費(円) | 前年対比(%) |
|--------|---------|---------|
| 15年度 | 263,640 | 121.4 |
| 16年度 | 275,303 | 104.4 |
| 17年度 | 308,243 | 112.0 |
| 18年度 | 319,668 | 103.7 |
| 19年度 | 319,114 | 99.8 |
| 20年度 | 352,570 | 110.5 |

医療費負担の内訳

| 自己負担(3割) | 病院窓口での支払い | 病院窓口での支払い |
|----------|-----------|--------------|
| | 国県負担金・交付金 | 国県負担金・交付金(減) |
| 国保負担(7割) | 繰越金等 | 繰越金等 |
| | 保険税 | 保険税(増) |
| | 20年度 | 21年度 |

広めよう「適正受診」 やめよう「重複・多受診」
目指そう 国保財政健全運営

市政を問う

亀岡 食材納入業者について、これまでの食材納入業者はどうなるのか、商業振興を図る面からも、その対応は。

市長 今年度中には食材の調達方法についての考え方を整理していく。市内業者からの仕入れを基本とし、関係業者の皆様のご協力を得ながら進めてまいります。

亀岡 地産地消の推進は。安全安心な食材提供に地産地消



亀岡 等
(市民クラブ)

給食センター

食材の納入と

提供は

市長／生産者の育成

を図るとされている具体的な推進は。

市長 安全な地場農産物の安定供給体制を構築するため、JA北部との緊密な連携のもと営農集団や集落法人の参画、新たな生産者の育成を進めて取り組んでまいります。



地産地消(地元で生産される野菜)



最低制限価格とは

公共事業での適正な工事や業務が行われるよう定める金額。

競争入札の予定価格の4分の3を下回らず、かつ土木工事の場合は純工事費以上の額の範囲内で定めた金額で、それ以下で入札された場合は失格となる。



和田 一雄
(尊和会)

業務委託

委託は市内業者へ

市長／極力市内業者へ

和田 90%以上最低制限価格の引き上げの見直しは。

市長 現在調査検討中。国の算定方式等により早い時期に結論を出したいと思っています。

和田 公共交通体系の車両全般業務を市内業者への委託は。

市長 車両・物品等の購入についても極力市内業者にと指示しています。

和田 身障者専用駐車場に車椅子や松葉杖等の配備計画は。

市長 盗難問題等を踏まえ今後検討したいと思っています。

和田 市民に配布される刊行物に表記するカタカナ語のやさしい配慮は。

市長 さらにわかりやすく配慮した作成に努めたいと思います。

12名が



水戸 眞悟
(無所属)

建設計画

地域整備の方向は

市長／地域特性に応じた整備

水戸 地域別整備方針の今後の方向性は。
市長 中心市街地については、都市活動の拠点的作用を担う施設整備に取り組みました。補完機能を担う各支所につきましても、その機能

の充実とともに地域特性に応じた整備を推進し、地域生活の利便性をさらに高めるよう、長期計画を尊重し進めます。
水戸 一般道中北川根線の改良促進は。
市長 一般道中北川根線は危険箇所も多い路線です。安芸高田消防署北部分駐所の緊急車両の安全確保も含め、美土里町側の家屋移転の完了により、随時拡幅工事に取りかかります。
水戸 災害対策用備蓄品の充足並びに自主防災組織の現状は。
市長 災害対策用備蓄品については、要備蓄数量の70%を目標に本年度計画しています。自主防災組織は現在27団体が設立済みです。今年度の主要事業として位置づけ組織化を促してまいります。

温暖化対策

太陽光発電設置補助

市長／国の制度の利用促進



金行 哲昭
(政友会)

金行 学カテスト調査結果と現在の学校状況、また新型インフルエンザの影響は。

教育長 市内小中学校の児童生徒の学力は全教科県平均を上回っております。各小中学校とも特色ある学校づくりをしており、表彰も多々あります。また、新型インフルエンザの関係で関西方面への修学旅行は延期して実施します。

金行 未来の暮らしを支えるクリーンエネルギー太陽光発電システムを設置する人に補助金の考えはないか。
市長 国の制度に住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金があり、利用促進を図ってまいります。



太陽光発電システム

在宅介護限界

施設介護充実を

市長／厳しい状況



穴戸 邦夫 (無所属)

穴戸 在宅介護充実とともに、介護施設が緊急課題では。
市長 第4期介護保険事業計画に基づく施設建設については国に強く要望してまいります。施設介護から在宅介護の方向であり、非常に厳しい状況です。より充実した在宅介護に向けてもこれから力を入れていきます。



介護施設の拡充

農業の将来

地域農業の活性化

市長／課題に対処



秋田 雅朝 (政友会)

秋田 地域農業の活性化に向かう将来展望は。
市長 産業として自立できる農業への構造転換を目指し、産直市等を施策展開の契機とし、就労等、農業課題に対処して

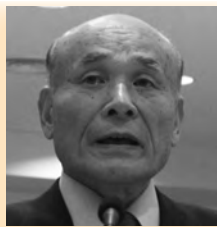
いきたいと思いません。
秋田 担い手・集落営農組織の育成、生産組織の法人化の今後は。
市長 農政改革の内容を注視し、集落ぐるみで農地を守る集落営農の育成を図りたいと思います。
秋田 圃場整備事業が完了して数年が経過した水田の暗渠排水、のり面等の補修対策は。

市長 国の新規事業「農地有効利用支援整備事業」の活用を県と連携して推進していきたいと思えます。
秋田 担い手確保対策としての「結婚サポート事業」の取り組みは。
市長 農業が「婚活」の場となることは有意義であり、結婚希望者の意向を把握して取り組みたいと思います。



白ねぎ栽培に取り組む営農法人

今村 現在の経済状況や社会情勢から、今回の国県の政策、地域活性化・経済危機対策、子育て支援、農村活性化対策に向けて市はいかなる視点で事業執行にあたられるのか。



今村 義照 (あぎの会)

大型補正予算

事業執行と行政評価は

市長／積極的に取り組む

市長 事業の前倒しも含め積極的に取り組めます。将来的な財政負担を少しでも軽減し、経済対策に積極的に取り組むと同時に公共投資臨時交付金も総合計画の実施計画に掲げる事業の中で前倒しが可能なものについても活用したいと考えています。

市長 行政活動による効果を全て計量的に評価することは困難であるが、市民にわかりやすい評価と公表を考えたいと思います。協働のまちづくりは市民の協力があって行政運営が成り立つのであり、その中で長期総合計画を見直すこともあり得ると考えています。



安芸高田市総合計画と行政評価報告書

前川 よく売れている「えびす茶」の作付と販路の拡大、また、特産品の政策は。
市長 行政としても機械購入等支援をし、農協と連携をと

前川 荒廃地化する農地を守る政策は。
市長 集落ぐるみで農地を守る集落営農の推進、産業として自立できる農業形態を育成し、生活基盤でもある大切な農地を守っていききたいと思えます。

農地対策について、農地を守る政策について考えは



前川 正昭 (無所属)

りながら販路拡大をし、また、安芸高田市の農産物や特産品を買っていただく

めの手法の展開はこれからも図っていきたいと思っております。



えびす茶

作付と販路拡大

市長／農協との連携

調査・保存計画は

市長／見直しが必要

郡山城跡



石飛 慶久
(無所属)

石飛 国史跡の郡山城修景整備事業に対して、史跡の調査・保存のできる整備基金計画の策定の準備は。



日本100名城指定の「郡山城跡」

市長 郡山城跡が日本100名城に指定されたことや財政事情の変化などを踏まえて今後見直しをかける必要があると考えています。

石飛 来訪者に中世の山城を体感できる新たな受け皿は。

市長 現段階では新たな発掘と復元によって来訪者へアピールする文化的受け皿を整備することは厳しい状況です。



青原 敏治
(あきの会)

青原 すぐやる課の利用状況は。

市長 防犯灯など交通安全施設の設置、修繕、動物の死骸撤去、不法投棄、ごみの対応、リフレックシユ農道、有害鳥獣対策関係、上下水道の事故対応など、4月・5月の2ヶ月で704件の利用がありました。課題を整理し、サービスの向上に努めます。

青原 すぐやる課の予算は。

市長 市道の維持関係費、交通安全関係施設の修繕などで1億7千万円余り計上しています。

すぐやる課

利用状況・予算・ 人員は

市長／課題の整理とサービス向上

青原 すぐやる課の人員をふやして機能的にしています。

市長 サービスに支障があれば人員増も検討しますが、いま少し状況をみて判断します。文字通り「すぐやる課」であるよう取り組みます。

青原 支所長の決裁権限を、予算を明確にして市民にわかりやすいように見直しは。

市長 実態を調べ検討します。

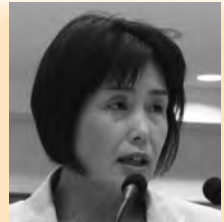
青原 吉田町の窓口は、アージヨのオープンフロアに置き利便性の向上を。

市長 配置換えの問題があるので、少し時間をいただきたいと思っています。



放課後児童クラブ

病後児保育サービスへの取り組みと放課後児童クラブの利用時間



山根 温子 (無所属)

山根 21年度に1ヶ所実施とした病後児保育サービス計画の進捗状況と放課後

子育て支援

放課後児童クラブの利用時間延長は

市長／前向きに検討

児童クラブの利用時間の延長について。

市長 病後児保育サービスは、利用者数の変動や、専用スペース・スタッフの確保に課題があり、取り組みが遅れていますが今後検討してい

きます。また、放課後児童クラブについては、今年度で一定の方向を出すよう前向きに検討します。

小児救急医療の維持と訪問診療体制の構築

山根 いまある小児救急医療の維持のための啓発活動と在宅介護を支える訪問診療体制の構築は。

市長 市民に小児救急医療の上手な利用の仕方を啓発していくことと、どこでも安心して生活できる見守り体制や医療と介護の連携体制などの充実に取り組みたいと考えています。



入本 和男 (あきの会)

ベンチャー組織の支援は

市長／市民の発想を大切に検討

入本 各支所で新産業創造課(ベンチャー支援事業)制度の導入を。
市長 地域の活性化をどうしていくか、大事な課題なのでベンチャー組織を作るのが良いか振興会の役割を幅広くするか議論して、市民の発想を大切にして今後財政的支援を検討します。
入本 職員による市民サービスの向上は。
市長 今、職員は朝の5分間スピーチで職員の業務内容の連携を取り、基本的なことは建設課・市民生活課等の課を問わず市民に事業説明ができるようにしています。



ベンチャーとは

ベンチャー企業・ベンチャービジネスの略。新技術や高度な知識を軸に、大企業が行っていない分野で創造的・革新的な経営を展開する中小企業を指す。

その他質問
○職員数の適正化について
○各支所での要望・意見・決裁について



総務企画常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員 | 赤川 三郎 |
| 副委員長 | 山根 温子 |
| 委員 | 大下 正幸 |
| 委員 | 先川 和幸 |
| 委員 | 金行 哲昭 |
| 委員 | 今村 義照 |
| 委員 | 藤井 昌之 |

委員会による要望活動 新・過疎法制定を国に要望

ひとしメモ

過疎法とは

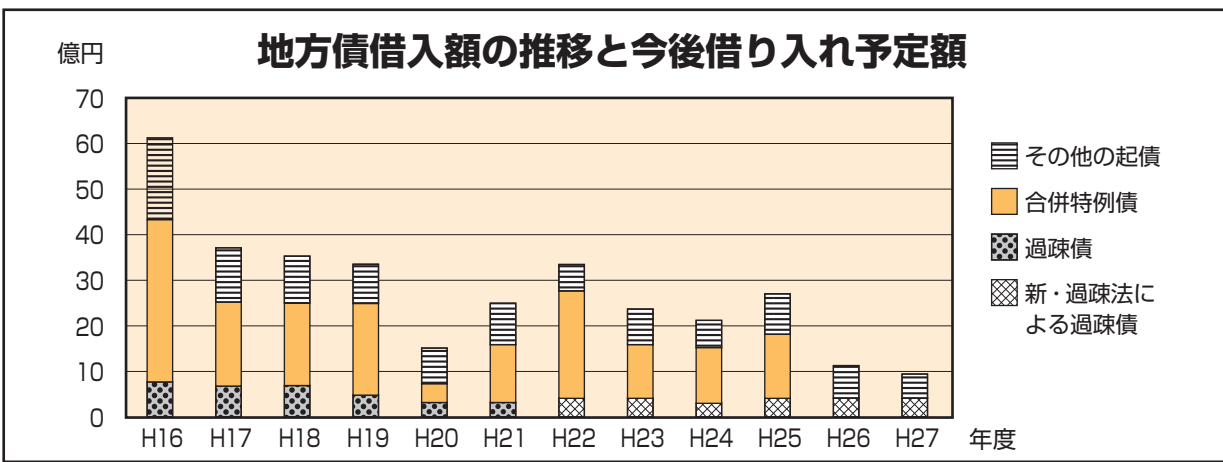
◎人口の著しい減少に伴い、地域活力が低下した地域に生産機能や生活環境の整備等における特別な措置を講ずる法律。

- ・10年間の時限立法（H12.4.1～H22.3.31）
- ・7割の交付税措置（過疎債）

◎適用要件は、人口減少率と財政力指数が国の定めた数値に該当すること。

6月25、26日の2日間藤井議長を含めた総務企画常任委員会の6名の委員が市長とともに上京し、総務省と広島県選出および出身国会議員に対して新たな過疎法制定の必要性を訴えました。

市の建設計画の実現に向けて、過疎法の適用は必要不可欠です。市全域をこれまで通り過疎地域の指定とし、さらなる総合的な過疎対策事業の実施による支援を総務省自治行政局過疎対策室はじめ、斉藤鉄夫環境大臣など19名の国会議員に強く要望しました。



このグラフは、市建設計画による地方債借入額の推移と今後の借り入れ予定額で、19年度までは決算値を基に、20年度は最終予算、21年度は当初予算、22年度以降は実施計画計上数値を基に推計しています。過疎債を適用した主な事業には、下水道事業と、他に一般会計事業があり、地方債に占める割合は16～21年度で11～17.4%です。22～25年度においても、10.3～16.5%を予定しています。

合併特例債の適用が終わる26年度からは、その割合は26%にあたります。

長野県の3市を視察

あずみの とうみ いいだ
安曇野市・東御市・飯田市 を視察研修

7月1日～3日

視点1 地域公共交通活性化事業

| 長野県 | 運行主体と愛称 | 特徴など | 課題 |
|--|----------------------------|---|--|
| 安曇野市 人口 約10万人 面積 332km ² 高齢化率 23% | 社会福祉協議会 「あづみん」 | <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な予約乗合交通と朝夕定時定路線、一部地域ではナイトラインも有り ・高齢人口を上回る登録者数 24% ・開始後約1年間で1日平均利用者数が倍増 (現在約400人/日) | <ul style="list-style-type: none"> ・便数が少ない ・時間がかかる ・観光客に対する公共交通への取り組み |
| 東御市 人口 約3万人 面積 112km ² 高齢化率 23% | 商工会 「とうみレッツ号」 | <ul style="list-style-type: none"> ・車両借上げによる予約乗合交通と定時定路線バスの運行 ・片道は30分を基本とする運行 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在の利用登録割合は市民の12%であるが、すでにシステムは限界 |
| 飯田市 人口 約11万人 面積 659km ² 高齢化率 27% | 自治体(建設部都市・地域計画課)と地域により広域連合 | <ul style="list-style-type: none"> ・1路線1タクシー事業者委託で、変更など小回りが効く ・乗降は停留所を利用する簡易な予約乗合交通 ・専門の受付センターを置かず、タクシー事業者の受付システムを活用するため安価 | <ul style="list-style-type: none"> ・予約に手間がかかる、使い方がわからないとの声もあり、利用者は以前より減少している |

まとめ 住民の目線に立った公共交通の構築を目指して十分な検討が必要。

視点2 東御市の行政改革について

一町一村でH16.4.1合併、後期基本構想に基づいた行政運営がなされていますが、財政運営において、交付税の一本算定への対応、市民病院の累積赤字、土地開発公社の債務保証などの課題があります。

まとめ 職員の削減や下水道整備等、合併前の対応がなされており、さらに合併10年後の交付税減額への対応にむけて努力がなされている。安芸高田市においてもさらなる取り組みが必要である。

視点3 飯田市の子ども農山漁村交流プロジェクト事業について

(株)南信州観光公社(3セク)を窓口にして、すでに中学生を対象とした体験教育旅行の受入実績(4万人/年間)があり、受け皿が整っている状況がある中、さらに地域が一体となり、民間活力を活かした多様な組織とするため南信州セカンドスクール研究会を設立。

豊富な実績と多様な組織体制においても、保護者の負担軽減のための安い集団宿泊施設の確保や安全の担保としての看護師や学生ボランティアの確保などが課題とされています。

まとめ 安芸高田市のこれからの取り組みにおいては、組織体制や人材の確保が検討課題。

第1回 芸北広域環境施設組合臨時会
【5月29日開催】

じんかい
塵芥収集運搬車を購入
(ごみの収集運搬業務)

【議決された内容】

1. 取得する財産
 - 塵芥収集運搬車 1台
2. 契約の方法
 - 指名競争入札
(5月15日に北広島町(5社)、
安芸高田市(1社)で入札)
3. 取得金額
 - 7,291,200円
4. 契約の相手方
 - (有)山下自動車工業
北広島町春木 300番地 1

5月29日、塵芥収集運搬車の財産取得について、第1回芸北広域環境施設組合議会臨時会が北広島町にて開催され、審査の結果、左記のとおり承認議決されました。

審査の結果

塵芥の収集運搬車は特殊車両でありながらメーカー直扱いでなく、地元業者(北広島町・安芸高田市)のみで入札しており、地場産業への配慮がされていた。
また、予定額より827,800円の入札残りとなり、公平な入札結果でした。



塵芥収集運搬車

20
年度

政務調査費

すべて領収書を添付

< 20 年度政務調査費収支実績報告 >

| 項 目 | 会派合計 | 新政会 | あきの会 | 政友会 | 公明党 | 尊和会 | |
|---------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|---------|--------|
| | 金額(円) | 金額(円) | 金額(円) | 金額(円) | 金額(円) | 金額(円) | |
| 収 入 | 4,440,000 | 2,160,000 | 960,000 | 960,000 | 240,000 | 120,000 | |
| 支 出 | 調査研究関係 | 2,202,814 | 781,483 | 610,201 | 609,380 | 125,710 | 76,040 |
| | 資料関係 | 304,865 | 193,085 | 27,315 | 69,585 | 6,540 | 8,340 |
| | 広報公聴関係 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 事務所関係 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | その他 | 1,068,567 | 707,217 | 40,315 | 281,035 | 40,000 | 0 |
| | 合計 | 3,576,246 | 1,681,785 | 677,831 | 960,000 | 172,250 | 84,380 |
| 残余額(返還) | 863,754 | 478,215 | 282,169 | 0 | 67,750 | 35,620 | |

< 主な取り組み内容 >

* 新 政 会 9名

- ・ 議会運営のあり方について(広島市)
- ・ 地方分権懇話会参加(広島市)
- ・ 行政改革について研修(長野県朝日村)
- ・ 地産地消について研修(長野県長野市)

など

* 政 友 会 4名

- ・ 地方議会議員のための議会運営活性化講座参加(名古屋市)
- ・ 地方分権懇話会参加(広島市)
- ・ 柚子による村おこし事業視察(高知県)

など

* あきの会 4名

- ・ 地方分権懇話会参加(広島市)
- ・ 自治政策講座参加(大阪市)
- ・ 市民と議会の条例づくり研修(東京都)
- ・ 人材活用セミナー参加(廿日市市) など

* 公 明 党 1名

- ・ 地方財政の課題と制度改革への対応研修(大阪市)
- ・ 第10回都市経営セミナー(東京都) など

* 尊 和 会 1名

- ・ 自治体財政研究会参加(東京都) など

※ 日本共産党の会と市民クラブは政務調査費の交付申請をされていません。

【政務調査費とは】

政党に所属する議員や同じような考え方・意見を持つ議員は、自分たちの考えを効果的に市政に反映させるため、グループをつくり活動しています。これを会派といいます。

政務調査費とは、地方自治法に基づき市が条例を制定し、議員が調査研究を行うために必要な経費の一部として交付する経費のことです。安芸高田市では、会派の申請に基づき1人月額3万円が交付されます。なお、残余金は返還しなければなりません。

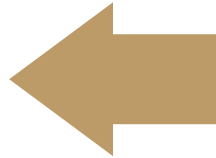
注) 20年度まで会派に交付されていたものが、21年度より条例を改正し議員個人への支給となっています。

葬斎場建設の経緯は？

合併前は

広域連合で調査

高齢化が進み講中葬が難しくなってきたおり、高田郡内（現安芸高田市）4箇所（火葬場の老朽化が進むなかで広域葬斎場（通夜から葬儀、火葬まで行える施設）として、市の中央になる吉田町に、速やかに建設するよう答申されました。



新市建設計画

施設の老朽化や近代化に対応し、葬斎場の統合整備を図ることが計画されました。

合併後は

全議員（議長除く）で構成する「葬斎場建設調査特別委員会」を14回にわたって開催し調査研究した結果、地元との調整を図りながら、吉田と美土里の町境に位置する旧吉田町環境センター跡地に、葬儀式場を併設して建設することが確認されました。

【経過の概要】

| | 執行部（市長側） | 議会 |
|--------|---------------------------|--|
| 17年 6月 | | 葬斎場建設調査特別委員会設置 |
| 8月 | 広域連合時代からの経緯や葬斎場建設基本計画概要説明 | |
| 11月 | | 先進地視察（柳井、防府、東広島） |
| 18年 1月 | 安芸高田市葬斎場建設基本計画策定 | 基本計画承認 |
| 2月 | | 葬斎場建設予定地の確認。地元との交渉を了承。 |
| 3月 | 地元説明会開催 | |
| 19年 8月 | ｝ 地元との協議（継続中） ｝ | 葬儀式場の併設について、民間施設が整備されるなか、再度、整備を確認。厳しい財政状況なので規模等を勘案するよう意見。 執行部が地元集落に協議を継続することを認めるが、慎重にあたるよう意見。 |
| 11月 | | 特別委員会を解散 |

現在の状況は

20年度は、測量費や環境影響調査費の予算が議決されましたが、市長が地元の合意形成に配慮され、執行されませんでした。

21年度も、同様の予算が議決されましたが、議会の予算審査の課程で、地元住民との合意形成に配慮して実施するよう求める意見が相次ぎました。

現在、地元の一定の理解は得られていますが、反対意見もあり地域を二分しないよう配慮しながら、合意形成を得られるよう取り組まれています。

傍聴記

八千代町

籠田 昭造さん

一日半にわたって一般質問を傍聴した。よくあることだが、今回も回答漏れがあったりした。

以前、検討されているやに聞いた一問一答方式の導入や、現在「時間制限なし、三回迄」となっている質問を「簡潔不明瞭とならない程度（時間制限設定、回数（何回か）増やす」と改正できないか。

聞く人誰にもよくわかるとともに、隔靴搔痒のような答弁で終わることのない実効ある議論を期待している。

「私はいじい思い」

八千代町

津田 好弘さん

今の市議会は、市政を厳しくチェックして活動すると目標が掲げられています。

現在の市政が市民の望む方向に進んでいるのか、市の提案が全て良いとはいえない。

効率的効果的な行政執行になるように議会が審議するのしようが、議会として、より議論していくために共通の考えをより力強く表現するには、会派を超えて議員提案による政策を出して、全議員が自分の持場責任を十分に成して、市と真正面から緊張感を持って充実した審議をする議会を望む。



シリーズ 議会マメ知識

～住民に開かれた親しみやすい議会をめざして～

(1) 議場両サイドのプラズマテレビの活用 (前号の傍聴記に答えて)

審議中の議案名の表示や、議案の採決の際の、賛成者数、反対者数の表示に活用しています。将来的には、議員の発言や執行部の説明を傍聴の方などに、より分かりやすくお伝えするため、パネル表示のような形で活用もしていきます。

(2) 一般質問を一問一答方式で検討中

現在の一般質問は、議員が市長などに質問したい事項（例えば、農業、福祉、教育のこと）をまとめて質問し、市長などの答弁も一括して行う形式になっています。一問一答方式では、人と人が会話をするような自然な形で行われ、傍聴者にとってなにが議論されているのか分かりやすくなります。安芸高田市議会では、現在導入の方向で市と協議しています。

広告を募集
しています

あきたかた議会だよりでは、広告掲載を募集しています。

詳しくは、議会事務局 (☎42-5621) へお問い合わせください。

今号から議会だよりのテーブルを
貸出します

朗読ボランティア「蜘蛛の糸」(代表 芦田道子さん)のご協力により、今号(第22号)から朗読テーブルの貸出しを始めます。9月からの予定です。
テーブル吹き込みは、記事そのままではなく、聞き手の立場に立って朗読内容を検討されています。
貸出し方法等の詳細は議会事務局(42-5621)へお問い合わせください。



朗読ボランティア「蜘蛛の糸」のみなさん

地域のかがやき

吉田 花いっぱい運動



丹比地区
振興会のみなさん



八千代 きてみんなさいや



産直市場「^{いちくら}ICHIKURA」

美土里 やったぞ! 県大会準優勝



美土里少年野球クラブの球児たち

高宮 元気いっぱい 汗いっぱい



第38回高宮町PTA親善ビーチバレーボール大会

甲田 助け合う仲間たち 学校・保育所施設等を修理



建設労組高田支部ボランティアグループのみなさん

向原 河原のハーモニー



第1回アートまつり in 向原

編集後記

表紙の鮎は、秋、川の中流域で産卵。稚魚は海へ下って越冬し、春川を上り藻類を食べて成長します。この自然の恵みがもたらす環境生態が変化しないよう願うものです。年々高まってきている地球温暖化、平均気温上昇の影響と被害が目に見えて現れ始めています。

安芸高田市でも2005年度より、温室効果ガス削減を目的とした「クールビズ」運動を、庁舎内の冷房を28度に設定し、軽装などで事務所内を涼しく快適に過ごす取り組みを奨励し、実践しています。

生活習慣の見直しは、生活や仕事のさまざまな面で実践でき、「やればできる」という実感は関心から行動へと一歩踏み出すことを後押ししてくれます。

一人ひとりが行動することの大切さが将来の地球温暖化防止につながり、それは夢と希望の持てる「安心して暮らせる安芸高田」が構築されるのではないのでしょうか。

(前重 昌敬)

〈発行責任者〉

議長 藤井 昌之

委員 長 穴戸 邦夫
副委員長 山根 温子
委員 前重 昌敬
委員 児玉 史則

前川 大下 正昭
正幸